

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成26年2月7日

**【四半期会計期間】** 第77期第1四半期(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)

**【会社名】** 株式会社中央経済社

**【英訳名】** CHUOKEIZAI - SHA , INC.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 山本 憲 央

**【本店の所在の場所】** 東京都千代田区神田神保町1丁目31番地2

**【電話番号】** (03)3293 - 3371(代表)

**【事務連絡者氏名】** 社長室長 津 原 均

**【最寄りの連絡場所】** 東京都千代田区神田神保町1丁目31番地2

**【電話番号】** (03)3293 - 3371(代表)

**【事務連絡者氏名】** 執行役員財務部長 宮 崎 勝 子

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第76期 第1四半期 連結累計期間	第77期 第1四半期 連結累計期間	第76期
会計期間	自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日	自 平成24年10月1日 至 平成25年9月30日
売上高 (千円)	602,652	754,150	2,707,944
経常利益 (千円)	31,393	5,592	69,559
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失( ) (千円)	21,211	18,442	51,347
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	27,275	9,156	68,366
純資産額 (千円)	3,777,763	3,772,374	3,818,837
総資産額 (千円)	4,756,074	4,807,547	4,994,100
1株当たり四半期(当期)純利益金額 又は1株当たり四半期純損失金額 ( ) (円)	5.69	4.94	13.76
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	79.4	78.4	76.4

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、第76期第1四半期連結累計期間及び第76期は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。第77期第1四半期連結累計期間は、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、新興国経済の減速など海外経済の下振れリスクの不透明要因は残るものの、政府の経済政策や日銀の金融緩和政策により円高是正と株価上昇が進み、企業収益や雇用情勢に回復傾向が見られるようになりました。

このような状況の中、当社グループは、新しい顧客の開拓、顧客ニーズの追求、返品対策をテーマに掲げて活動いたしました。その結果、昨年9月に買収した㈱シーオーツの出版活動は計画どおり進み順調な業績推移をしているものの、出版事業の大部分を占める㈱中央経済社の出版活動は、大きな制度改正もなく、現状においてははるかに顧客ニーズを捉えるまでには至りませんでした。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は754百万円（前年同四半期比25.1%増）、営業損失は2百万円（前年同四半期は営業利益23百万円）、経常利益は5百万円（前年同四半期比82.2%減）、四半期純損失は18百万円（前年同四半期は四半期純利益21百万円）となりました。

事業別の概況は次のとおりです。

#### （出版事業）

大きな制度改正がない中、顧客ニーズを捉えるための本の作り方・見せ方などに工夫を凝らし積極的に活動を行いました。また、前期に引き続き、新しい顧客開拓としての無料セミナーの開催などを行うとともに、機会損失を起こさないで返品を減らす方法を試行錯誤いたしました。その結果、出版点数は前年同四半期を上回り、返品率も下がりました。また、昨年9月に買収した㈱シーオーツの売上が加わり、売上は前年同四半期を上回りました。しかし、1点当たりの部数が減少したこと、また利幅が大きい高単価商品の売れ行きが不振だったことや利幅が小さい低単価商品の割合が多かったことで原価が前年同四半期を大きく上回りました。

以上により、当第1四半期連結累計期間の売上高は718百万円（前年同四半期比26.5%増）、営業損失は14百万円（前年同四半期は営業利益8百万円）となりました。

#### （出版付帯事業）

出版付帯事業の主力事業は、当社雑誌への広告請負代理ですが、紙媒体への広告が減少する中、有効な手段が見出せない状況が続いております。

以上により、当第1四半期連結累計期間の売上高は36百万円（前年同四半期比3.5%増）、営業利益は7百万円（前年同四半期比1.3%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は4,807百万円となり、前連結会計年度末に比べ186百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金の減少83百万円並びに受取手形並びに売掛金の減少88百万円によるものです。

(負債の部)

負債は1,035百万円となり、前連結会計年度末に比べ140百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の減少12百万円、未払法人税等の減少15百万円、返品調整引当金の減少23百万円及び賞与引当金の減少34百万円等による流動負債の減少145百万円によるものです。

(純資産の部)

純資産は3,772百万円となり、前連結会計年度末に比べ46百万円減少いたしました。これは主に、期末配当金の支払い等により利益剰余金が55百万円減少したことによるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	7,890,000
計	7,890,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年2月7日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	4,398,464	4,398,464	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	1単元100株であります。
計	4,398,464	4,398,464		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日		4,398,464		383,273		203,710

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 287,700 (相互保有株式) 普通株式 380,000		権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 3,727,700	37,277	同上
単元未満株式	普通株式 3,064		同上
発行済株式総数	4,398,464		
総株主の議決権		37,277	

(注) 「単元未満株式」には、当社所有の自己株式58株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) ㈱中央経済社	東京都千代田区 神田神保町1-31-2	287,700		287,700	6.54
(相互保有株式) ㈱プランニングセンター	東京都千代田区 神田神保町1-31-2	380,000		380,000	8.64
計		667,700		667,700	15.18

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,488,770	1,405,197
金銭の信託	699,554	699,554
受取手形及び売掛金	901,566	812,567
有価証券	123,587	133,288
商品及び製品	429,373	434,293
仕掛品	68,505	57,308
原材料及び貯蔵品	8,155	8,141
その他	139,908	102,476
貸倒引当金	1,440	1,255
流動資産合計	3,857,981	3,651,572
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	60,721	59,683
土地	523,481	523,481
その他(純額)	11,463	11,613
有形固定資産合計	595,666	594,778
無形固定資産		
のれん	97,508	92,632
その他	86,419	91,148
無形固定資産合計	183,927	183,781
投資その他の資産		
投資有価証券	151,157	155,821
繰延税金資産	96,377	94,513
事業保険積立金	40,697	41,657
その他	69,494	86,641
貸倒引当金	1,202	1,218
投資その他の資産合計	356,523	377,414
固定資産合計	1,136,118	1,155,974
資産合計	4,994,100	4,807,547

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	502,163	489,799
短期借入金	2,740	-
未払法人税等	19,092	3,401
返品調整引当金	69,103	45,489
賞与引当金	49,820	15,044
その他	258,133	202,228
流動負債合計	901,052	755,962
固定負債		
退職給付引当金	259,360	264,360
その他	14,850	14,850
固定負債合計	274,210	279,210
負債合計	1,175,262	1,035,173
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	383,273	383,273
資本剰余金	203,710	203,710
利益剰余金	3,512,470	3,456,721
自己株式	299,661	299,661
株主資本合計	3,799,793	3,744,043
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,037	26,286
その他の包括利益累計額合計	17,037	26,286
少数株主持分	2,006	2,044
純資産合計	3,818,837	3,772,374
負債純資産合計	4,994,100	4,807,547

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
売上高	602,652	754,150
売上原価	349,037	508,678
売上総利益	253,615	245,472
返品調整引当金戻入額	2,569	23,614
差引売上総利益	256,184	269,086
販売費及び一般管理費	233,145	271,423
営業利益又は営業損失( )	23,039	2,336
営業外収益		
受取利息	820	894
受取配当金	1,081	1,070
受取地代家賃	2,413	2,631
投資有価証券評価損戻入益	2,394	50
業務受託料	-	1,619
その他	1,689	1,664
営業外収益合計	8,399	7,930
営業外費用		
支払利息	-	0
その他	46	-
営業外費用合計	46	0
経常利益	31,393	5,592
特別利益		
投資有価証券売却益	114	-
特別利益合計	114	-
特別損失		
固定資産除却損	-	29
特別損失合計	-	29
税金等調整前四半期純利益	31,507	5,563
法人税、住民税及び事業税	2,819	2,929
法人税等調整額	7,424	21,038
法人税等合計	10,243	23,967
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失( )	21,263	18,404
少数株主利益	51	38
四半期純利益又は四半期純損失( )	21,211	18,442

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	21,263	18,404
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,012	9,248
その他の包括利益合計	6,012	9,248
四半期包括利益	27,275	9,156
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,223	9,194
少数株主に係る四半期包括利益	51	38

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
	<p>四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。</p> <p>なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、当第1四半期連結会計期間末残高から除かれております。</p> <p style="text-align: right;">受取手形 10,880千円</p>

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)	
減価償却費	3,236千円	減価償却費	5,967千円
のれんの償却額	千円	のれんの償却額	4,875千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年12月19日 定時株主総会	普通株式	37,307	10	平成24年9月30日	平成24年12月20日	利益剰余金

(注) 配当金の総額は連結子会社が保有する自己株式(当社株式)にかかる配当金を控除しております。なお、控除前の金額は41,107千円であります。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年12月17日 定時株主総会	普通株式	37,307	10	平成25年9月30日	平成25年12月18日	利益剰余金

(注) 配当金の総額は連結子会社が保有する自己株式(当社株式)にかかる配当金を控除しております。なお、控除前の金額は41,107千円であります。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、当社及び子会社3社で構成され、主に企業経営全般及びその他分野に関する専門書籍、雑誌の出版・販売を行う出版事業と広告請負代理等を行う出版付帯事業からなっております。広告請負代理は当社の発行する雑誌に掲載する広告を請け負っているものであり、雑誌制作全体から見て一体のものであるといえます。したがって、事業セグメントは単一と判断し、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額( )	5円69銭	4円94銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額( )(千円)	21,211	18,442
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額又は 四半期純損失金額( )(千円)	21,211	18,442
普通株式の期中平均株式数(千株)	3,730	3,730

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、前第1四半期連結累計期間は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。当第1四半期連結累計期間は、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月6日

株式会社中央経済社  
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	岡	研	三
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	福	村	寛

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社中央経済社の平成25年10月1日から平成26年9月30日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社中央経済社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。